

都内江戸川周辺・臨海部・足立区の放射能汚染調査結果について

2012年3月15日

日本共産党東京都議会議員団

- 調査対象** 土壌、落葉などの1キログラムあたりの放射性物質濃度（Cs134 + Cs137）
（ベクレル）
- 採取地点** 江戸川区篠崎駅隣地、江戸川土手沿い（江戸川区篠崎から葛飾区金町）、お台場、晴海、足立区中川公園・東綾瀬公園（別紙参照）
- 採取日** 2012年3月2日 ~ 4日
- 目的と内容** 都民から、都立水元公園以外の土壌でも、放射能蓄積への不安が寄せられているため、江戸川沿い、臨海地域、足立区で、どの程度の放射線性物質があるのかを把握し、対策への一助になるように具体的なデータを把握した。

調査結果について

今回の調査で、もっとも高濃度だった地点は、江戸川土手下の民家側の道路脇に溜まった土壌で、放射性物質濃度（Cs134 + Cs137）が、1キログラム当たり20,700ベクレルでした。

それ以外で10,000ベクレルを超えた土壌は、足立区東綾瀬公園、江戸川区内の江戸川土手の河川敷、河川敷駐車場、臨海部のお台場の街路樹植込みの土壌でした。

葛飾区水元公園内を対象にした前回の調査（2月21日発表）で23,300ベクレルが検出されましたが、今回の調査結果から、都内でも比較的高濃度な局所的汚染が一定の広がりをもっていると考えられます。

江戸川土手沿いには、民家はもちろん、学校、幼稚園、保育園、病院もあります。高濃度の放射性物質の実態、その原因究明と対策が急務であると考えます。

各採取場所の放射性物質濃度

地域名	採取場所	放射性物質濃度 Cs134+Cs137(Bq/kg)
足立区	中川公園 草地	1,490
	中川公園 窪地の土壌	1,920
	中川公園 草地内の落葉及び草の枯れ葉	687
	中川公園 農園物置と物置の間の土壌	603
	中川公園 ロープジャングルジムの下の土	1,360
	中川公園 公園内通路の土壌(砂地)	1,020
	東綾瀬公園 花壇内の落葉	245
	東綾瀬公園 雨水マス口周辺の土壌	12,400
葛飾区	金町江戸川土手	4,830
江戸川区内	篠崎駅近隣 街路樹植込み土壌	4,180
	江戸川土手下部 民家側	20,700
	江戸川土手下部 河川敷側	13,700
	江戸川土手下部河川敷側駐車場	12,500
臨海地域	晴海5丁目 道路脇の土壌	3,680
	お台場 街路樹の植込み内の土壌	10,600

測定方法など

使用測定器は、ベルトールドジャパン製 LB2045 (NaI (T1) シンチレーションスペクトロメータ)。毎日、測定器の使用基準により測定器立ち上げ時に線源による校正、バックグラウンドの補正をおこなった上で、各サンプルを20分間測定した。

各サンプルは、地表面約1センチの厚さで500ml～1000ml採取したものを、約400ml、毎回試料を混ぜ合わせてから3回測定し、平均値を出した。

以上